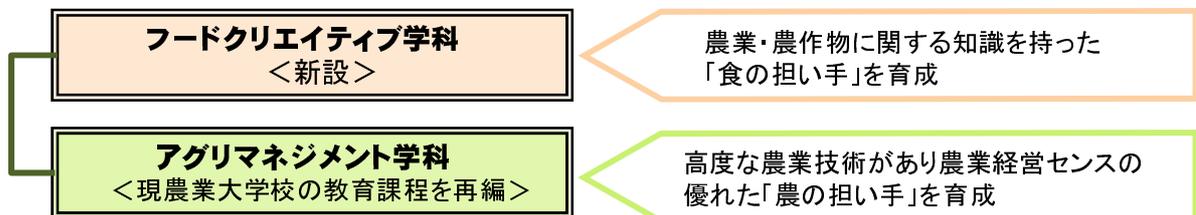


「なら食と農の魅力創造国際大学校」周辺の賑わいづくりへの支援

【担当省庁】農林水産省

奈良県における取組

農に強い「食」の担い手（シェフ）を育成する研修拠点として、奈良県農業大学校を改編し、「なら食と農の魅力創造国際大学校（通称NAFIC：ナフィック）」を平成28年4月に開校。



* 各学科とも 定員：20名/学年 修業期間：2年

◆ 「食」の実学教育を行うオーベルジュを学内に併設

※オーベルジュ（郊外や地方にある宿泊施設を備えたレストラン）



「オーベルジュ・ド・ぷれざんす 桜井」

レストラン40席、
ステージキッチン付きバンケット42席
宿泊：スイート2室・ツイン7室

■ 開校による効果

- ・平成30年3月に第1期生、平成31年3月に第2期生が卒業。
卒業生は、県内でカフェを開業するなど、飲食業界で活躍を始めている。
また、大学校の支援制度を活用して、海外での研修を準備中の者もある。
- ・併設のオーベルジュでは、県産食材を使ったメニューが好評。
開業からの1年間で2万人を超える来客があり、現在も盛況が続いている。

【関係市町村】桜井市

国にお願いすること

平成28年4月に開校した「なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）」とオーベルジュの機能や立地を活かし、今後新たにセミナーハウス等を設置。「食」と「農」の魅力発信により地域の交流人口の増加を図り、中山間地域の活性化につなげる。

NAFIC周辺の賑わいづくり全体計画（案）

- NAFICセミナーハウス
- 農林業体験・農村との交流
- 最新技術を用いた実験圃場

NAFICセミナーハウスの整備概要



セミナーハウス(イメージ)

セミナー棟 2階建(延床面積 1,500㎡程度)
1階: セミナールーム 70人用 1室、35人用 2室
2階: ゲストルーム 10室程度

シェアルーム棟 3階建(ゲストルーム、シェアルーム等を整備)

【用途】

- セミナールーム: 「食」や「農」のセミナー、コンテスト、研修会等の開催
- ゲストルーム : セミナー等の催しの参加者の宿泊

【整備スケジュール】

- R元 外構設計
- R2～ 建築工事等

セミナー棟は、**農村景観などの農村資源を活かし、地域の活性化を図るものであるため、農山漁村振興交付金を活用し、今後整備**

- ① 延べ床面積(1,500㎡以内)
- ② 宿泊室数(10室以内)

【要望】 **農山漁村振興交付金による支援**

建築予定年度：令和2～3年度

セミナー棟建設費：8億8千3百万円

補助金要望額：2億1千8百万円

(上限事業費 29万円×1,500㎡×1/2)



【県担当部局】 農林部 担い手・農地マネジメント課、農村振興課、なら食と農の魅力創造国際大学校